



# 株主通信

YBHD NEWS No.45 | 平成28年2月

証券コード：5911

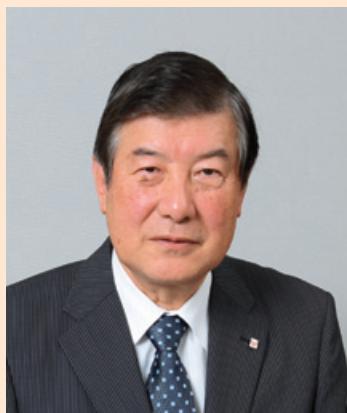


つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

*The Next Perspective*



株式会社 横河ブリッジホールディングス



代表取締役社長

## 荒井 久司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、株主通信「YBHD NEWS」第45号をお届けいたします。

我が国経済につきましては、力強さに欠ける状況ではありますものの、円安・原油安が幅広い業種の企業業績に寄与しています。しかしながら、「中国経済の減速」や「不安定な中東情勢」等もあり、先行きの不透明感を拭うことは出来ず、今年はデフレからの確実な脱却と本格的な経済の再生を実現するための正念場になると思われま

す。建設投資につきましては、リニア新幹線の最難関工区であります南アルプストンネルとリニア品川駅の工事が始まり、東京オリンピックに向けたインフラ整備等と合わせて、建設工事が本格的に動き出していくと思われま

す。当社グループに関連する事業分野では、高速道路等の大規模更新・修繕事業を中心とした橋梁保全事業の需要が高まっておりますが、主力事業であります新設橋梁の発注量は今後、減少していくことが予想されますため、システム建築等のエンジニアリング関連事業への取り組みを強化することにより事業規模の拡大と収益の確保に努めてまいります。

当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年2月

平成28年1月28日に、平成28年3月期第3四半期(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

### 連結経営成績(累計)

	平成28年3月期第3四半期	平成27年3月期第3四半期
売上高	78,684 百万円	72,966 百万円
営業利益	4,847 百万円	4,948 百万円
経常利益	4,994 百万円	5,133 百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,141 百万円	3,645 百万円

### 【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第3四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)における総受注高は同期間として過去最高の887億9千万円(前年同期比8.8%増)となりました。

セグメント別の受注高といたしましては、橋梁事業546億4千万円(同32.8%増)、エンジニアリング関連事業322億9千万円(同15.8%減)、先端技術事業18億5千万円(同12.4%減)となりました。

決算面につきましては、当第3四半期累計期間の売上高は786億8千万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は48億4千万円(同2.0%減)、経常利益は49億9千万円(同2.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億4千万円(同13.8%減)となり、売上高は同期間として過去最高となりました。

セグメント別の売上高といたしましては、橋梁事業の売上高は豊富な手持ち工事の進捗により508億3千万円(前年同期比4.7%増)と前年同期を上回りましたが、営業利益は工事損失引当金の計上が

影響し、31億7千万円(同10.4%減)と前年同期を下回りました。工事採算は全体的に改善傾向にありますものの、厳しい施工条件が予想される案件を中心に、新規受注に伴う工事損失引当金の計上がありま

した。また今年度は架設工程にある大型工事が多いことから、利益率の振れ幅が大きくなる傾向があります。年度末に向け、個別工事の採算の管理・改善に一層努めてまいります。

エンジニアリング関連事業の売上高は255億円(前年同期比16.1%増)となり、システム建築事業を中心に前年同期を上回りました。損益につきましても売上高の増加に加え、土木関連事業の不採算工事が減少したことなどにより利益率が改善し、営業利益は20億7千万円(同30.4%増)と前年同期を上回りました。

先端技術事業につきましては、売上高は17億7千万円(前年同期比4.1%減)、営業利益は前年同期とほぼ同額の2億3千万円となり、安定的な受注に支えられ堅調に推移いたしました。

### 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	平成28年1月28日発表	平成27年11月9日発表
売上高	105,000 百万円	105,000 百万円
営業利益	6,600 百万円	6,600 百万円
経常利益	6,650 百万円	6,650 百万円
親会社株主に帰属する純利益	4,400 百万円	4,400 百万円
1株当たり当期純利益	103円40銭	103円40銭

### 【連結業績予想に関する将来予測情報】

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、前回(平成27年11月9日付け)公表いたしました予想値から変更はありません。

Topics **1** 関門橋補修工事について  
 ～長寿命化を目指し、リフレッシュ工事を実施中！！～  
 表紙の写真もご覧ください

株式会社横河ブリッジより、関門橋補修工事(西日本高速道路株式会社発注)についてご紹介いたします。  
 山口県下関市と福岡県北九州市門司区を結ぶ関門橋は1973年に開通した吊り橋で、最大支間長712mは当時東洋一の規模でした。当社(旧・株式会社横河橋梁製作所)でも建設時の工事に参画しています。供用から40年以上が経過した本橋は、長期耐久性および予防保全の観点から平成23年度より約10年をかけてリフレッシュ工事が実施されています。当社ではこのリフレッシュ工事に参画しており、現在、施工を進めています。

補剛桁補修工事では、塗替塗装、縦桁の支承取替、検査路の取替などを実施しています。特に塗替塗装における既設塗膜の除去では、塗膜剥離剤による工法とともに電磁誘導加熱(IH)を利用した工法を併用して、施工性・安全性の向上や廃棄物の削減に取り組んでいます。

一方ケーブル補修工事では、現在、下関側径間において主ケーブルの足場組立を行っています。今後、主ケーブルやハンガーロープの塗替塗装、ケーブルバンドボルトの取替、主ケーブル送気設備の設置・試験計測などを進めていく予定です。

当社グループは橋梁事業のリーディングカンパニーとして、保全事業においても社会的使命を果たしてまいります。



補剛桁補修工事(門司側より)



建設時の橋歴版



電磁誘導加熱による塗装剥離



縦桁の支承取替(完了後)



検査路の取替(完了後)



主ケーブルの足場(施工中)

**【関門橋の諸元】**  
 所在地：山口県下関市椋野町  
 ～福岡県北九州市門司区大久保  
 構造形式：鋼3径間2ヒンジ補剛桁トラス吊橋  
 橋長：1,068m(径間割178m+712m+178m)

**【補剛桁補修工事の概要2】**  
 工事名称：関門自動車道  
 関門橋中央径間門司側南補剛桁補修工事  
 工期：平成25年11月26日～平成28年12月9日  
 主要工種：塗替塗装、支承取替、高力ボルト取替、縦桁補剛材補修、検査路取替ほか

**【補剛桁補修工事の概要1】**  
 工事名称：関門自動車道  
 関門橋門司側径間補剛桁補修工事  
 工期：平成23年12月14日～平成26年9月9日  
 主要工種：塗替塗装、支承取替、高力ボルト取替、縦桁補剛材補修、検査路取替ほか

**【ケーブル補修工事の概要】**  
 工事名称：関門自動車道  
 関門橋下関側径間主ケーブル送気設備設置工事  
 工期：平成27年4月28日～平成29年8月14日  
 主要工種：塗替塗装、ケーブルバンドボルト取替、主ケーブル送気設備設置ほか

## Topics 2 タンジュンプリオク・アクセス道路橋建設工事 ～慢性化した交通渋滞緩和に向けて～

コンテナ取扱い個数世界第20位(東京第23位)に位置するインドネシアのタンジュンプリオク国際貿易港は、港湾地区にアクセスするコンテナや貨物を輸送する車両で慢性的な交通渋滞に悩まされています。この渋滞を緩和するため日本のODA(政府開発援助)による「タンジュンプリオク・アクセス道路橋建設事業」が現在進められています。

株式会社横河ブリッジでは平成23年3月より2工区、6橋梁の新設工事に携わり、平成28年4月末を目標に工事が進んでいます。2工区はいずれも首都ジャカルタの北に位置するタンジュンプリオク港にあり、全てが完成すると全長15.5kmの有料高速道路となります。

工事は激しい交通渋滞の中、規制帯を幾度となく移動し、ブロック架設工法や横取り工法等を多用しながら、橋の架設が行われています。また、雨季には現場内の増水にも悩まされて、幾度となく工事が中断しました。それらの問題を英語や片言のインドネシア語で現地スタッフとコミュニケーションを図りながら解決し、安全第一で工期内の竣工を目指しています。

さて、海外で仕事をする上での楽しみの1つが現地料理を食べることです。インドネシア料理で有名なナシゴレン(焼き飯)やミーゴレン(焼きそば)、そしてアヤムゴレン(鶏の唐揚げ)は、日本人の口に合う人気料理で、どこでも気軽に食べることができます。

また、この港付近から高速ボートで2時間ほどジャワ海を沖に出ると、プロースーリブ(千の島々)というサンゴ礁が織り成すトロピカル・アイランドがあり、マリンスポーツを楽しむことができます。



ジャカルタ (インドネシア) 位置図

### 【工事概要】

工事名称：タンジュンプリオク・アクセス道路NSリンク工区上部工事およびE2A工区上部工事

工期：平成23年3月～平成28年4月(62か月)

構造形式：4径間連続曲線箱桁橋x1連  
2径間連続曲線箱桁橋x2連  
単純箱桁橋x3連

工事箇所：インドネシア共和国 ジャカルタ市 タンジュンプリオク港



施工状況写真 (地上より)



施工状況写真 (桁上より)



朝礼の様子



作業員一同での集合写真



屋台でナシゴレンを調理中



テーブルいっぱいの海鮮料理

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、
交付株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
電話お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.ybhd.co.jp/">http://www.ybhd.co.jp/</a>

## ■YBHDグループ



### 株式会社 横河ブリッジホールディングス

グループ全体の経営管理



### 株式会社 横河ブリッジ

橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



### 株式会社 横河システム建築

システム建築・開閉式建築システム・環境



### 株式会社 横河住金ブリッジ

橋梁・橋梁関連製品・セグメント



### 株式会社 榎崎製作所

橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



### 株式会社 横河技術情報

情報処理サービス・ソフトウェア開発



### 株式会社 横河ニューライフ

不動産管理・情報システム・人材派遣



### 株式会社 ワイ・シー・イー

橋梁等構造物の総合エンジニアリング

表紙の写真

関門橋(かんもんきょう)

所在地:山口県下関市~福岡県北九州市

構造形式:鋼3径間2ヒンジ補剛桁トラス吊橋

写真は補修工事着工前の写真です。



## 株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

